キャラクター名
副島陽（そえじま・はる）

プレイヤー名

シンドローム	エグザイル ハヌマーン	ワークス	UGN支部長A	カヴァー	高校生
オプショナル		年齢	18	性別	女
覚醒	素体	衝動	吸血	初期侵食率	33 %
出自	親戚と疎遠	経験	仲間の死	邂逅	友人

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	3	1	0			4
感覚	2	0	0			2
精神	1	0	0			1
社会	2	0	0			2

HP	29
行動値	5
(非装備時)	5
戦闘移動	10
全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	4		射撃			ＲＣ			交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	1	
運転： 馬	2		芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：噂話	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
風斬糸	白兵	4r-1	0	12		
①②	白兵	9r-1	0	12		
①②（100%）	白兵	13r-1	0	12		
①②③	白兵	9r-1	0	27		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
コネ：UGN幹部	
コネ：噂好きの友人	
コネ：情報屋	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
指導者(LM)	P	N		
固定：支部の仲間	P 遺志	N 悔悟		
固定：敷島あやめ	P 友情	N 憐憫		
シナリオ：春日恭二	P 同情	N 嫌気		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6	残り財産P： 3

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
①コンセントレイト：エグザイル	2	2	メジャー	-	-	対決	-	
効果： C値-LV								
②オールレンジ	5	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果： 白兵攻撃ダイス+LV個								
③死神の制度	3	4	メジャー	武器	単体	対決	リミット	
効果： 攻撃+[LV*5] シーン1回								
④吠え猛る爪	2	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果： 装甲値無視 攻撃力-[5-LV]								
空の楽器	1							
効果： 周囲の大気を無数の楽器やスピーカーに変え、任意の音声や音楽を発生させる								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

使用：基本1/2、EA、HR、LM

N志の高校生支部長。N市の高校に通う高校3年生。
外見は大和撫子然とした、凛とした姿での少女。弓道部に所属している。
立ち振る舞いも丁寧で常に微笑みを浮かべているが、裏を返せば隙がないとも言え、支部長としては容赦のない一面を見せる。
UGNの人間からは「立てば芍薬、座れば牡丹、辺りに散るは彼岸花」と不穏なことを言われ
血の花を連想させる彼岸花をもじったコードネームを付けられている。
中学時代にオーヴァードに覚醒し、その頃からエージェントとして活躍しており、実践経験は豊富。
その過程で仲間も失っており、そのような経験をさせないためにも、甘いことを口走る新人エージェントやイリーガルには厳しくあたる。
よく口元は笑っていても目が笑っていないだとか何だとか。

弓道部に所属し、弓を扱うが、UGNエージェントとしての自身の戦闘スタイルは身体と風斬糸を接続し、腕自体を大きな弓に見立てる。
更に、風残糸を鳴らして飛ばすのはハヌマーンの力で操った風と音の矢であり、
彼女が弓矢を放つたびに綺麗な音が辺りに鳴り響く。
見えない矢に切り刻まれるようにして相手は倒れ、そのときの血の舞い散る様が彼岸花のようだということも
上記の言われようにも繋がっている。

PC3 UGN・N市支部の支部長
ロイス: 春日恭二　推奨感情P:同情/N:眠気
カヴァー/ワークス指定なし/UGN支部長
キミはN市のUGN支部長である。今、N市にはFHによる攻撃が行われており、キミは戦いを指揮している。
戦いの中、キミはFHエージェント”ディアボロス”春日恭二がN市の活動を取り仕切っていることを知る。この男には、負けるわけにはいかないだろう。